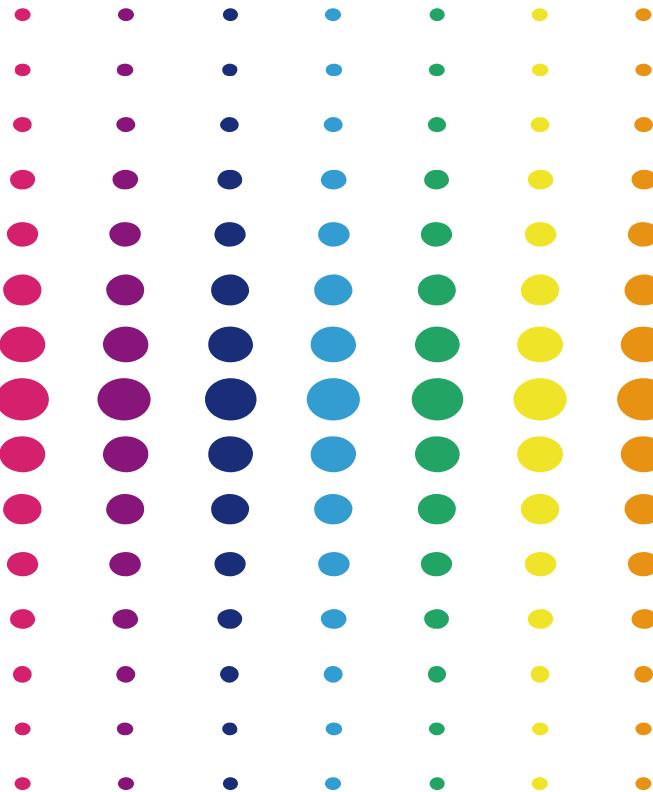


新卒採用 面接者ガイダンス



面接者ガイダンスの流れ



1 採用要件と評定項目

2 最終面接実施のポイント

3 最終面接の流れ

4 評定のポイント

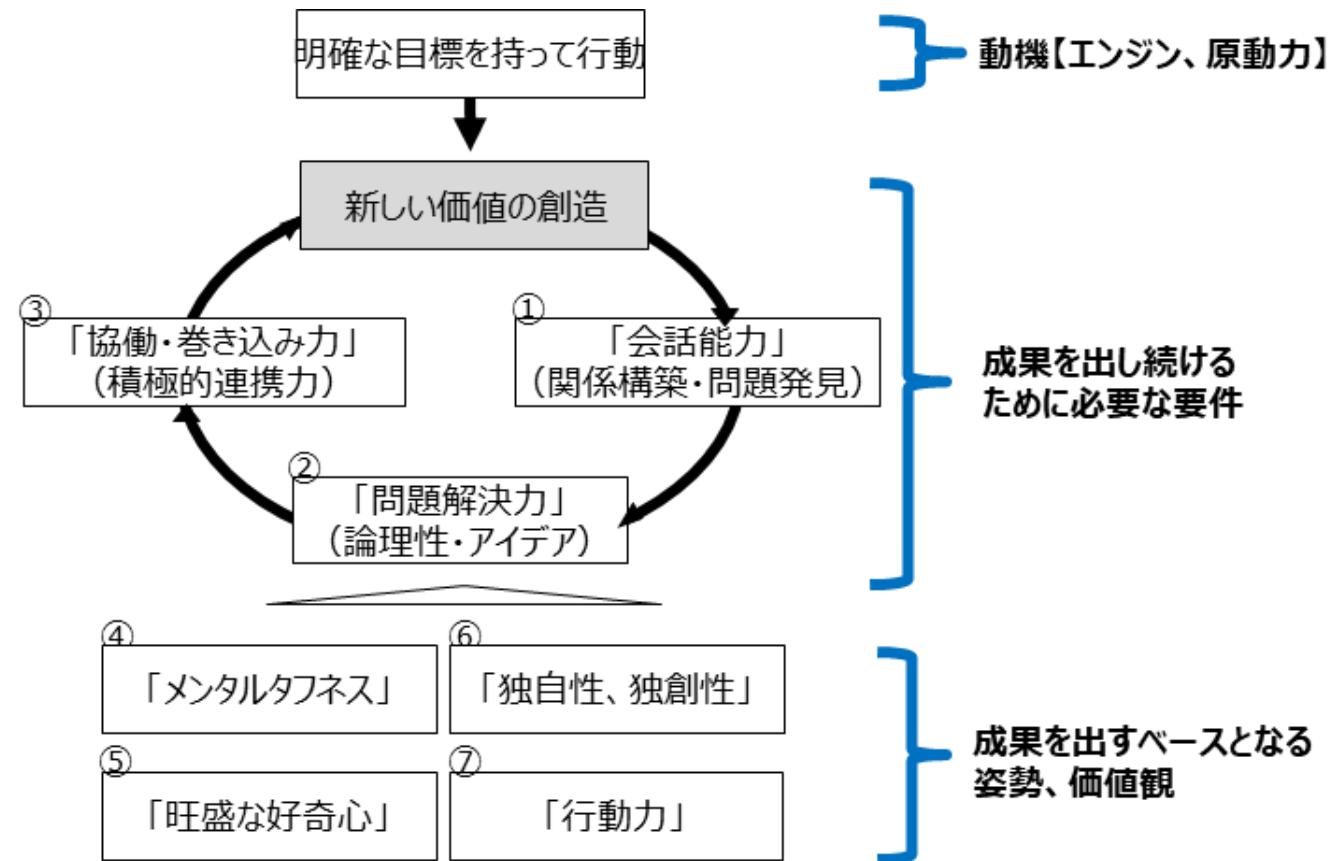


採用要件と評定項目

求める人材像とその背景

■ 求める人材像

求める人材像の設定にあたっては、「デジタライゼーション」を見据え、社長をはじめ、経営層の方々へのインタビューや適性検査分析結果など様々なご協力をいただきて得られた情報を元に、人事部で議論をしてきました。その結果、今後の日立システムズにおける「求める人材の行動」を以下のように定義しています。

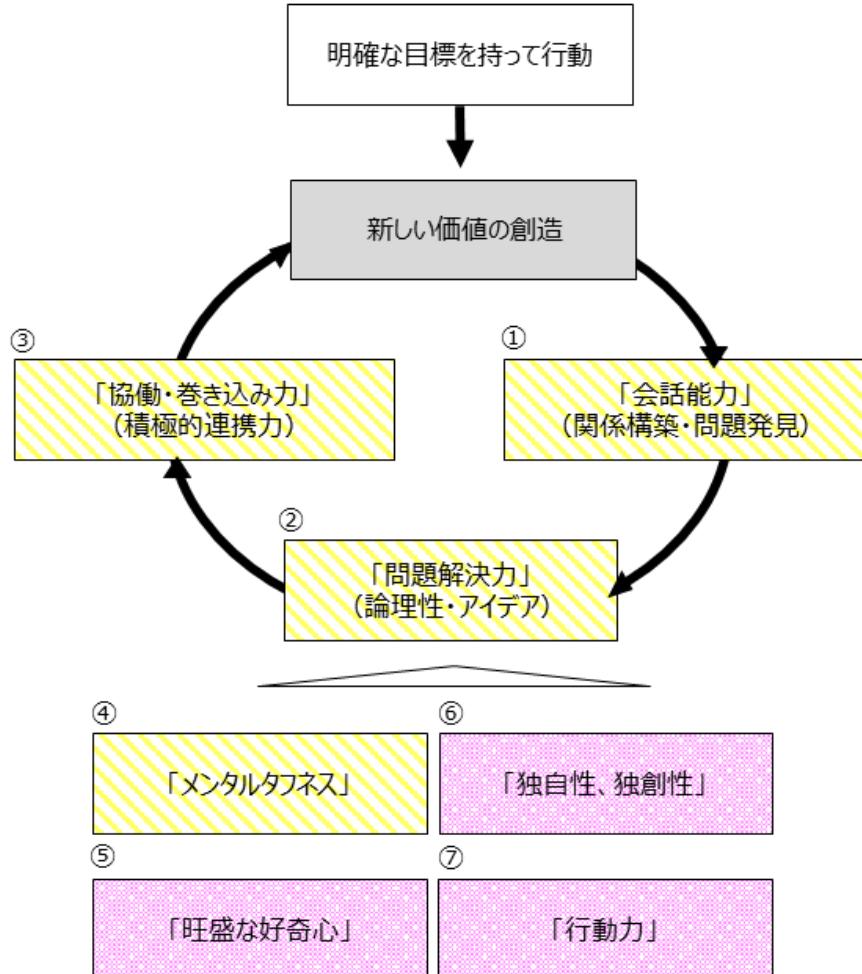


採用要件と評定構造



採用要件		定義	SPI	2次選考	最終選考	
ベース 要件	① 会話能力 (関係構築・問題発見)	周囲と深いコミュニケーションを図り、チーム内の相互理解や合意形成をリードすることができる	●	● 1点～4点	4段階 (○○△×) で総合判断	
	② 問題解決力 (分析力・論理性)	問題の本質を捉え、課題を明らかにしたうえで、解決方法を導き出すことができる	●	● 1点～4点		
	③ 協働・巻き込み力 (積極的連携力)	解決するために、チーム内外の関係者を巻き込み、協働しながら、成果を生み出すことができる	●	● 1点～4点		
	④ メンタルタフネス	トラブルなどの困難な状況に陥っても、落ち着いて冷静に対応できる	●	● 1点～4点		
ビジネス 変革 要件	⑤ 旺盛な好奇心	自分の「軸」をもって、自分の知らないことや新しいことに興味・関心を持ち、積極的に学ぼう（知ろう）とする姿勢がある	●	1点～4点		
	⑥ 独自性、独創性	他人とは違う見方ができる、自分を正直に表現（言葉、芸術、モノ、コト……等）することができる	●	1点～4点		
	⑦ 行動力	失敗を恐れずに、成功するまで、繰り返し挑戦することができる	●	1点～4点		

最終選考で評価する要件



動機【エンジン、原動力】



：最終選考で評価する、MUST要件



：最終選考で評価する、WANT要件

成果を出し続けるため
に必要な要件

採用要件	定義
① 「会話能力」 （関係構築・問題発見）	周囲と深いコミュニケーションを図り、チーム内の相互理解や合意形成をリードすることができる
② 「問題解決力」 （論理性・アイデア）	問題の本質を捉え、課題を明らかにしたうえで、解決方法を導き出すことができる
③ 「協働・巻き込み力」 （積極的連携力）	解決するために、チーム内外の関係者を巻き込み、協働しながら、成果を生み出すことができる
④ 「メンタルタフネス」	トラブルなどの困難な状況に陥っても、落ち着いて冷静に対応できる
⑤ 「旺盛な好奇心」	自分の「軸」をもって、自分の知らないことや新しいことに興味・関心を持ち、積極的に学ぼう（知ろう）とする姿勢がある
⑥ 「独自性、独創性」	他人とは違う見方ができ、自分を正直に表現（言葉、芸術、モノ、コト……等）することができる
⑦ 「行動力」	失敗を恐れずに、成功するまで、繰り返し挑戦することができる

成果を出すベースとなる
姿勢、価値観

最終選考で評価する要件：旺盛な好奇心

自分の「軸」をもって、自分の知らないことや新しいことに興味・関心を持ち、積極的に学ぼう（知ろう）とする姿勢がある

評定項目	レベル	評定レベルの観点
⑤「旺盛な好奇心」	1	現状に満足している
	2	自分の知らないことや新しいことに興味・関心を持って、学ぼう（知ろう）とする姿勢がある
	3	自分の「軸」をもって、自分の知らないことや新しいことに興味・関心を持ち、積極的に学ぼう（知ろう）とする姿勢がある
	4	自分の「軸」をもって、自分の知らないことや新しいことに興味・関心を持ち、様々な人や自分とタイプの違う人と付き合うなど、幅広く、積極的に学ぼう（知ろう）とする姿勢がある

【レベル定義の原則】

評定項目	要素	要素の観点
「旺盛な好奇心」	要素A	自分の知らないことや新しいことに興味・関心を持って、学ぼう（知ろう）とする姿勢がある
	要素B	自分の「軸」をもって、積極的に学ぼう（知ろう）とする姿勢がある
	要素C	様々な人や自分とタイプの違う人と付き合うなど、幅広く、積極的に学ぼう（知ろう）とする姿勢がある

レベル	評定レベルの定義	イメージ		
1	劣る	:要素Aもない、もしくは不足している状態		
2	ふつう	要素A	:要素Aはできている状態	
3	優れている	要素A	要素B	:要素Aはできており、加えて要素Bもできている状態
4	大変優れている	要素A	要素B	要素C :要素A、Bはできており、さらに要素Cもできている状態

最終選考で評価する要件：独自性、独創性

他人とは違う見方ができる、自分を正直に表現（言葉、芸術、モノ、コト……等）することができる

評定項目	レベル	評定レベルの観点
⑥「独自性、独創性」	1	他人と違うことを好まない(保守的)
	2	他人とは違う見方ができる
	3	他人とは違う見方ができる、自分を正直に表現（言葉、芸術、モノ、コト……等）することができる
	4	得意分野や専門性の高い分野を持ち、他人とは違う見方ができる、自分を正直に表現できることができる

【レベル定義の原則】

評定項目	要素	要素の観点
「独自性、独創性」	要素A	他人とは違う見方ができる
	要素B	自分を正直に表現（言葉、芸術、モノ、コト……等）することができる
	要素C	得意分野や専門性の高い分野を持っている

レベル	評定レベルの定義	イメージ
1	劣る	:要素Aもない、もしくは不足している状態
2	ふつう	要素A :要素Aはできている状態
3	優れている	要素A 要素B :要素Aはできており、加えて要素Bもできている状態
4	大変優れている	要素A 要素B 要素C :要素A、Bはできており、さらに要素Cもできている状態

最終選考で評価する要件：行動力

失敗を恐れずに、成功するまで、繰り返し挑戦することができる

評定項目	レベル	評定レベルの観点
⑦「行動力」	1	失敗することが怖い(恥ずかしい)ため、挑戦できない
	2	失敗を恐れず、挑戦するが、成功するまでやり続けられるかはわからない
	3	失敗を恐れずに、成功にするまで、繰り返し挑戦することができる
	4	どんな逆境に出会おうとも、失敗を恐れずに、成功にするまで、躊躇なく(素早く)、繰り返し挑戦することができる

【レベル定義の原則】

評定項目	要素	要素の観点
「行動力」	要素A	失敗を恐れず、挑戦する
	要素B	成功にするまで、繰り返し挑戦する
	要素C	どんな逆境に出会おうとも、躊躇なく(素早く)、繰り返し挑戦する

レベル	評定レベルの定義	イメージ		
1	劣る	: 要素Aがない、もしくは不足している状態		
2	ふつう	要素A	: 要素Aはできている状態	
3	優れている	要素A	要素B	: 要素Aはできており、加えて要素Bもできている状態
4	大変優れている	要素A	要素B	要素C : 要素A、Bはできており、さらに要素Cもできている状態

